

アプリ部門

応募締切

7/10

消印有効

# 身近なヒント 発明展

こども発明部門

## 新部門が追加されました!

これまでの10個の部門に、令和3年度より2部門が追加されました。より充実した募集ジャンルで、アイデア商品化を支援します。ご応募お待ちしております。

応募用紙  
請求フォーム



### 11部門 アプリ部門

「アプリ」は、スマートフォンなどで、やりたいことをやるようにしてくれるソフトのこと。スマホの普及で、新しいサービスを提供する新アプリのアイデアを考える人が増えており、これらの発明家の商品化支援をするために新設された部門です。

「アプリ単体でのアイデア」や、「アプリと、商品を組み合わせたアイデア」を募集します。

#### 《11部門「アプリ部門」応募要項》

応募資格、応募費用等は従来と同様。

**応募方法:** 「身近なヒント発明展」応募用紙の応募部門欄に「11部門」と記入。

#### 応募用紙記入方法と試作について:

実際にプログラミングをして、アプリそのものを作る必要はありません。アプリの完成度を競うコンテストではなく、新しい視点から生まれたアプリのアイデアのヒントを、新アプリ開発に活かすことを目的としています。

「こんなアプリがあったら、こんな人が喜ぶ」というアイデアの内容と、具体的な機能例や活用法を、文章やイラストで説明するだけで応募可能です(アプリを作っても応募可能)。

#### 《アプリ単体のアイデア例》

##### 「ラーメン屋アプリ」

ラーメンが食べなくなったとき、今いる場所の近くの店舗を探してくれるアプリ。現在地情報と飲食店データベースをリンクさせ、地図上でラーメン店を検索。メニューやレビュー閲覧のほか、店の予約や行列の状況、出前注文も可能な、ラーメン愛好家が喜ぶアプリ。

#### 《アプリと商品と組み合わせたアイデア例》

##### 「CCDカメラ付き耳かきアプリ」

耳の中を見ながら耳かきができるアプリ。耳かき先端に付けたCCDカメラと、その画像をスマホ画面で見えることを可能にするアプリのアイデア。Bluetoothでテレビ等と接続できれば、業務用や医療用としての利用可能性も。

#### 審査・賞・採用:

従来どおり、全協賛企業が審査し、賞を決定し表彰します。諸権利は応募者に帰属し、アプリ採用の際は実施料契約をし、協賛企業の規定に沿って、発明者にアプリのダウンロード数などに応じた、ロイヤリティが支払われます。

### 12部門 こども発明部門

「ものづくり」と「発明」に興味を持ってもらい、発想力の向上や、未来の日本を支える子どもたちの創造と表現力の育成を目指す目的で新設された部門です。さらに、**科学雑誌「子供の科学」とのコラボも決定!** 子どもの発明を応援します!

子供の科学  
コラボ紹介ページ



#### 《12部門「こども発明部門」応募要項》

**応募資格:** 小中学生(15歳まで)

**応募ジャンル:** 全11ジャンル(新設アプリ部門まで含む)

**応募方法:** 「こども発明部門」専用応募用紙にて応募  
(※応募部門欄に「12部門」と印刷済)

**応募費用:** 無料

#### 応募用紙記入方法と試作について:

試作品がある場合はその写真を貼り、説明してください。ない場合はイラスト等で説明をし、応募してください。

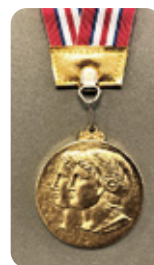
#### 審査・賞・採用:

アイデアや試作品・イラストのレベルは問いません。新規性やアイデア性、試作品の完成度、発想力の豊かさ、夢が感じられるアイデアであるか等の観点から、総合的に審査します。

特に優秀な作品として選ばれた約10点の作品は、「こども発明部門特別賞」として表彰し、「発明学会が認定する未来の大発明家」として「金メダル」を授与します。

また、商品化採用の可能性につなげるために、一般部門同様に、全協賛企業が、商品化採用を前提に、こども発明部門へ応募されたすべての作品を審査します。

諸権利は応募者に帰属し、商品化の際は実施料契約をし、発明者にロイヤリティが支払われます。



こども発明部門  
専用応募用紙  
請求フォーム



KokaNet 一般社団法人 発明学会  
X 身近なヒント発明展  
12部門 こども発明部門  
コラボ企画